

ばら通信

2005.4.18発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5

☎018-828-7750 Fax018-828-8185

NEWS 新学期始まる！！

2005.4.7 入園式

2005.4.12 わんぱく運動教室開始

社会福祉法人グリーンローズ 「ことば」の教室
オリブ園

おもいきりあそびましょう—— 初めて参加された子どもさんの保護者の方へ

子どもたちは遊ぶことを欲しています。何にもない状態でも遊ぶものを見つけだして遊びます。それは遊びが子ども自身のほとんど大半を占めているからです。どうしてでしょうか？ 子どもはこの外界に出てまだまもなく、まわりにあるものすべてに深い関心を持っているからです。手を伸ばしたり、なめてみたり、転がしてみたり、投げしてみたり、ぶつけてみたり等々、これらすべてが、まわりとのかかわりを求めているのです。そして、知っていくのです。外から見れば、遊びと見えます。いたずらと見えます。時に困った行動にみえます。しかし、子どもの中では、激しい学習が行われているのです。そしてその学習は、大きくなってからの「勉強」のような難儀さではなく、このうえなく楽しいのです。楽しいと声が出ます。気持ち良くなります。他の人とのコミュニケーションも欲しくなります。よく発達の検査などで、ことば、社会性、生活習慣、運動、探索などと分けられていることがありますが、小さい時は、ほんとうに混然一体化しているのです。こうした中から少しずつ分化していくことが成長と言われています。子どもは周囲とのかかわり（遊び）をたくさん経験することが、大きな仕事なのです。どうぞ、おもいきり遊んで下さい。きっと家族の方々も楽しくなり、たくさんの新しい発見（子どもを理解）をするに違いありません。（後藤）



グリーンローズで出会った子どもたち、家族の方々先生たちと仲良くなりましょう。何でも話し合えるように、周囲の人々とコミュニケーションしていきましょう。

キーワード 楽しく遊ぶ 子どもを理解 学習 成長

こんなことやっていますよ

支援	相談	
こばと組	外部幼保個別	あひる組
りす組	ルーテル個別	どんどん広場
学童	その他個別	コットン
運動 わんぱく運動教室 チャレンジ運動教室		
手話教室	おもちゃライブラリー	移動おもちゃ

今月のことば

それでは最後に、インディアンのマヤ族のことばをご紹介します。この講演を終わらせていただきます。もともと北米からやってきたマヤ族は、今は南メキシコに住む素晴らしい人々です。彼らはこういっております。「生まれたばかりの赤ん坊には、世界の将来があります。お母さんは赤ん坊をしっかりと抱かねばなりません。その子は世界が自分のものであることを知るでしょう。お父さんはその子をいちばん高い丘へつれていき、世界がどんなに広くてすばらしいものであるかを教えてやらなければなりません。」と。

T.ベリー・ブラゼルトン
昭和57年大阪

「親子の絆」シンポジウムの講演より

T.ベリー・ブラゼルトン
「子どもの心が聞こえますか」というすばらしい育児書を出しております。赤ちゃんの研究で新しい知見を次々と出しました。

新しい先生が
やってきました。
佐藤陽子先生です。



オリブ園開設三十周年

オリブ園は昭和50年（1975年）12月に認可を受け、昭和51年1月1日から開園となり、ちょうど30周年を迎えました

三十周年記念同窓会

平成17年8月6日（土）

三十周年記念同窓会を行います。後で連絡致しますが連絡を取り合っていたらと思います。

何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail: bara@abelia.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www7.ocn.ne.jp/~bara>